様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 鳥取県理容美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　鳥取県理容美容専門学校 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程名 | 学科名 | 夜間･通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
| 専門 | 理容 | 夜・通信 | 60単位 | 6単位 |  |
| 美容 | 夜・通信 | 60単位 | 6単位 |  |
|  |  | 夜・通信 |  |  |  |
|  | 夜・通信 |  |  |  |
| （備考） | | | | | |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

|  |
| --- |
| 学校事務室で閲覧公開 |

３．要件を満たすことが困難である学科

|  |
| --- |
| 学科名 |
| （困難である理由） |

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

* 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 鳥取県理容美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人鳥取県理容美容専門学校 |

１．理事（役員）名簿の公表方法

|  |
| --- |
| 学校事務室で閲覧公開 |

２．学外者である理事の一覧表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容  や期待する役割 |
| 非常勤 | 理容業 | ３年  R6.6.19～ | 業界代表としての様々な提言 |
| 非常勤 | 美容業 | ３年  R6.6.19～ | 業界代表としての様々な提言 |
| 非常勤 | 理容業 | ３年  R6.6.19～ | 理容分野に関する授業内容、技術指導への様々な提言 |
| 非常勤 | 美容業 | ３年  R6.6.19～ | 美容分野に関する授業内容、技術指導への様々な提言 |
| 非常勤 | 理容業 | ３年  R6.6.19～ | 理容分野に関する授業内容、技術指導への様々な提言 |
| 非常勤 | 理容業 | ３年  R6.6.19～ | 理容分野に関する授業内容、技術指導への様々な提言 |
| 非常勤 | 美容業 | ３年  R6.6.19～ | 美容分野に関する授業内容、技術指導への様々な提言 |
| （備考） | | | |

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 鳥取県理容美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　鳥取県理容美容専門学校 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |  |
| --- | --- |
| １．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| （授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）  〇年度末に各授業担当者に教育課程表・年間行事予定表等を配布し、年間授業計画の作成を依頼した。  〇４月の授業開始（最初の授業）において、年間授業計画を学生に公表し説明を行い、外部へは学校事務室で閲覧公開する。  〇最終的な到達目標は、理容師・美容師国家試験合格であるため、各単元ともに国家試験出題範囲と内容において、６割以上の得点を得ることを目標とする。  〇理容科、美容科ともに同様の扱いとする。 | |
| 授業計画書の公表方法 | 職員室にて閲覧公開 |
| ２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）  〇学則に成績・考査並びに進級、卒業の認定に関する規定を記載。  ※厚生労働省告示「理容師（美容師）養成施設の教科課程の基準」並びに厚生労働省通知「理容師（美容師）養成施設の基準の運用について」に準拠  〇各学期において定期考査を実施し、成績及び出席状況を把握し、学年末において進級、卒業の認定を行う。  〇理容科、美容科ともに同様の扱いとする。 | |
| ３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 | |
| （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）  〇各学期毎に定期考査を実施し、年間を通じた平均点６０点以上を合格と認定する。  〇成績評価の指標は、理容師・美容師国家試験の出題範囲と内容において、概ね６割以上の得点を到達目標とした定期考査の得点を指標とし、授業態度・提出課題等を加味して、１００点満点で評価する。  〇履修の認定は、「理容師（美容師）養成施設の教科課程の基準の運用について」  に準拠し、教科毎に欠席時数が５分の１以内とする。  〇成績分布については、一覧表で把握している。  〇理容科、美容科ともに同様の扱いとする。 | |
| 客観的な指標の  算出方法の公表方法 | 学則に明記。外部には学校事務室で閲覧公開。 |
| ４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）  〇本校学則に明記  厚生労働省告示「理容師（美容師）養成施設の教科課程の基準」並びに厚生労働省通知「理容師（美容師）養成施設の基準の運用について」に準拠  　各学年で学習する全ての教科課目の履修・修得を認定された者は、進級並びに卒業を認定する。  〇理容科、美容科ともに同様の扱いとする。 | |
| 卒業の認定に関する  方針の公表方法 | 学則に明記し、学生に説明。外部には学校事務室で閲覧公開。 |

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 鳥取県理容美容専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　鳥取県理容美容専門学校 |

１．財務諸表等

|  |  |
| --- | --- |
| 財務諸表等 | 公表方法 |
| 貸借対照表 | 学校事務室で閲覧公開。 |
| 収支計算書又は損益計算書 | 学校事務室で閲覧公開。 |
| 財産目録 | 学校事務室で閲覧公開。 |
| 事業報告書 | 学校事務室で閲覧公開。 |
| 監事による監査報告（書） | 学校事務室で閲覧公開。 |

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報（理容）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野 | | 課程名 | | 学科名 | | | | 専門士 | | | 高度専門士 | | |
| 衛生 | | 専門 | | 理容 | | | |  | | |  | | |
| 修業  年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | | | 開設している授業の種類 | | | | | | | | |
| 講義 | | 演習 | | 実習 | 実験 | | | 実技 |
| ２年 | 昼間 | 2010／67  単位時間／単位 | | | 570／１9単位時間/単位 | | 単位時間/単位 | | 1440/48単位時間/単位 | 単位時間/単位 | | | 単位時間/単位 |
| 単位時間／単位 | | | | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | | | 専任教員数 | | | 兼任教員数 | | | 総教員数 | |
| ２０人 | | ２人 | ０人 | | | 1人 | | | 0人 | | | １人 | |

|  |
| --- |
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要）  「理容師養成施設指定規則」並びに「理容師養成施設の教科課程の基準」に準拠する教育課程を編成。実習を伴う教科課目と講義による教科科目を設置。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）  各学期毎に定期考査を実施し年度末に評価点が１００点満点で６０点以上の教科課目の修得を認める。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）  　各学年で学習する全ての教科課目の履修、修得を認定された者は、進級並びに卒業を認める。 |
| 学修支援等 |
| （概要）  　欠席時間数が５分の１を超えた場合、欠席時間数が３分の１以内の者については、校長が認めた場合補習授業を認める。また、教科・科目の年度末の評価点が６０点未満の者については、校長が認めた場合追認考査を行う。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | | |
|  |  | | | |
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数  （自営業を含む。） | その他 |
|  | １人  （100％） | ０人  （　　％） | １人  （　　％） | ０人  （　　％） |
| （主な就職、業界等）  　理容サロンに就職した。 | | | | |
| （就職指導内容）  本人の希望を尊重して理容業への就職を支援、指導した。 | | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））  　理容師国家試験（受験資格） | | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| １人 | ０人 | ０％ |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） | | |

①学科等の情報（美容）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野 | | 課程名 | | 学科名 | | | | 専門士 | | | 高度専門士 | | |
| 衛生 | | 専門 | | 美容 | | | |  | | |  | | |
| 修業  年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | | | 開設している授業の種類 | | | | | | | | |
| 講義 | | 演習 | | 実習 | 実験 | | | 実技 |
| ２年 | 昼間 | 2010／67  単位時間／単位 | | | 570／１9単位時間/単位 | | 単位時間/単位 | | 1440/48単位時間/単位 | 単位時間/単位 | | | 単位時間/単位 |
| 単位時間／単位 | | | | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | | | 専任教員数 | | | 兼任教員数 | | | 総教員数 | |
| ８０人 | | ４６人 | ０人 | | | ２人 | | | 0人 | | | 0人 | |

|  |
| --- |
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要）  「美容師養成施設指定規則」並びに「美容師養成施設の教科課程の基準」に準拠する教育課程を編成。実習を伴う教科課目と講義による教科科目を設置。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）  各学期毎に定期考査を実施し年度末に評価点が１００点満点で６０点以上の教科課目の修得を認める。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）  　各学年で学習する全ての教科課目の履修、修得を認定された者は、進級並びに卒業を認める。 |
| 学修支援等 |
| （概要）  　欠席時間数が５分の１を超えた場合、欠席時間数が３分の１以内の者については、校長が認めた場合補習授業を認める。また、教科・科目の年度末の評価点が６０点未満の者については、校長が認めた場合追認考査を行う。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | | |
|  |  | | | |
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数  （自営業を含む。） | その他 |
|  | ２１人  （100％） | ０人  （　　％） | ２１人  （100％） | ０人  （　　％） |
| （主な就職、業界等）  　美容サロン並びに美容業に関連する業界に就職した。 | | | | |
| （就職指導内容）  本人の希望を尊重して美容サロン、美容関連の業種への就職を支援、指導した。 | | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））  　美容師国家資格、美容師国家試験（受験資格） | | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| ２４人 | ２人 | ８％ |
| （中途退学の主な理由）  ・美容師への意欲が薄れ、他分野へ進路変更。  　・不規則な生活習慣、学習意欲低下による進路変更。 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）  ・学生理解のための日常の対話、懇談を実施し、生徒の状況把握に努める。  ・早期の進路ガイダンスを実施、進路指導の充実を図る | | |

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学科名 | 入学金 | 授業料  （年間） | その他 | 備考（任意記載事項） |
| 理容科 | 120,000円 | 360,000円 | 918,000円 |  |
| 美容科 | 120.000円 | 360.000円 | 928,000円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
| 修学支援（任意記載事項） | | | | |
|  | | | | |

ｂ）学校評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自己評価結果の公表方法 | | |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  ホームページアドレス鳥取県理容美容専門学校 (toribi.ac.jp)に掲載　https://www.toribi.ac.jp | | |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） | | |
| 学校関係者評価委員会を令和元年度に設置し年２回評価委員会を実施。  令和５年度は、４月に自己評価表を策定、７月評価委員会を実施。令和６年２月に第２会の評価委員会を実施し、３月に最終評価を公表。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 理容店経営 | ２年  2023.4.1~ | 業界代表者 |
| 美容店経営 | ２年  2023.4.1~ | 業界代表者 |
| 美容店経営 | ２年  2023.4.1~ | 業界代表者 |
| 一般企業経営 | ２年  2023.4.1~ | 保護者 |
| 元県立高等学校長 | ２年  2023.4.1~ | 教育関係者 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  「<https://www.toribi.ac.jp>」に令和５年度学校自己評価表を掲載済み。 | | |
| 第三者による学校評価（任意記載事項） | | |
|  | | |

ｃ）当該学校に係る情報

|  |
| --- |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  ホームページアドレス　https://www.toribi.ac.jp  ホームページまたは電話で資料請求が可能である。 |